

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壯一郎

発行所
仙台市上杉1丁目2番16号
法人 宮城県畜産会
電話 (61-2111)

編集発行人 大石 武一
定価 1部20円

印刷所 KK東北プリント



東北六県に先がけて実施される牛乳集出荷
近代化の主役を担うミルクタンクローリー

(秤量器付小型ミルクタンクローリー)

もくじ

- 畜産振興9月補正予算の概要……………2
- 近代化されつつある集乳機構……………3
 - 農業公社牧場設置事業とは……………4
 - 畜舎汚水の排水規制実施……………5
- 47年度預託牛の肥育共励会に寄せて……………6
- 在スイス365日の農民と農業……………7

畜産振興

9月補正予算の概要

佐久間健一郎

本年度9月補正は厳しい農業情勢の中にあつて畜産公害に対処しながら、草地飼料基盤の拡大整備による酪農肉用牛生産団地作り、更には中小家畜振興に重点をおき補正額3億445百万円が決定された。

その概要は次のとおりです。()円金額は当初計上額

〔1〕肉用牛振興

牛肉需要の増大につれて、農協等の集団肥育事業が拡大されているが、繁殖部門が低収益のため専用種は伸びなやみ、肥育素牛の調達も不自由となり繁殖めす牛が肥育に供用されているので、県内の肉用牛55,000頭(特に繁殖めす牛18,500頭)の維持培養に重点をおくと共に、肥育、繁殖の一貫経営によって収支相補完する肉用牛生産団地造成を進め、仙台牛の銘柄助長をはかり併せて牛肉の自由化に対応するため、ホルス雄子牛の全面肥育利用によって、コストの安い大衆牛肉の量産体制の確立を急がねばならない。

(1) 肉用牛育種集団パイロット事業15,350千円(0円) 20ヶ町村の肉用牛優良めす牛770頭を選定して、指定種雄牛と計画交配し、その産仔を保留(1頭当り13,400円交付)する。

(2) 牛用牛生産団地育成事業7,000千円(17,742千円)鹿島台町農協。

繁殖多頭グループ(戸当10頭、40戸)の育成と集団肥育(300頭規模)の一貫経営による肉用牛生産団地を造る。

(3) ホルス雄子牛利用促進事業4,860千円(36,092千円)。県内生産ホルスタイン雄子牛13,000頭の内、共同補育から肥育仕向けのもが25%に過ぎない。肉専用種の肥育素牛不足の折柄、農協中心にホルス雄子牛の全面資源活

用の体制を確立する。

共同補育(6ヶ月まで150頭×2回転/年)古川、登米農協、河北組合集団肥育(6~18ヶ月まで300頭規模)築館組合

(4) 肉用牛導入 8,763千円(81,210千円)

繁殖経営多頭化のため成牛200頭導入

(5) ホルス肥育素牛価格安定対策12,960千円(0千円) 肉用牛価格安定基金協会の業務として専用子牛の他にホルス肥育素牛を対象とする価格保証(基準価格54,284円)と育成奨励金交付(県生乳販運指定初生牛継続出荷推進のため1頭当り2,757円)

〔2〕養豚、養鶏振興

(養豚の部)

(1) 種豚(アメリカ、ハンプシャー種)の輸入8,850千円(0千円)

県養豚改良協会等の強い要請に応え種畜場の豚人工授精施設に供用するため、本県としてはじめてアメリカ合州国の種豚改良協会等の指導をうけ雄4頭、雌2頭を輸入する。

(2) 豚人工授精施設整備 26,929千円(0千円)

47年度国の予算(全国3ヶ所)の割当を得て種畜場(メインセンター)に設置、経済連、畜産牧場等とも提携して民営5~6ヶ所をネットワークとして指定種豚場(150場)、農協純粋種豚を対象に改良増殖へ促進。

(3) 豚産肉能力調査

仙台への産地直結販売で注目されている南郷農協が肉豚改良のため自主的に経済検定を行なう。

(養鶏の部)

(1) プロイラー素びな供給センター建設

県内で年間出荷されるプロイラー300万羽の素びなは80%を県外よりの移入に依存しているため、鶏病の持込み、価格割高、供給不安定があり県内自給体制確立の要望に応えて、宮城県食鶏農協を中心に種鶏、ふ卵、育雛施設の設置(1万羽収容、年100万羽ひな供給)

(2) プロイラー処理加工施設建設

プロイラー団地の増加に伴って現在の経済連(角田市)宮城食鶏(河南町)の処理施設のみでは対応できないので、本吉郡津山町(予定)に経済連の処理加工施設を建設(4,000羽/日 能力年間120万羽)。

総合養豚事業にとりくむ
サイボクグループ



(株)サイボク

東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄

取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢 TEL(高清水)172



NEP

純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL(0222)(21)7694

中新田GPセンター

TEL(022296)(3)3714

〔3〕酪農振興

未利用地の草地開発と稲転の飼料化による省力多頭化の促進と酪農家段階のユニットクーラーの設置普及による乳質改善を中心として、集乳合理化のためスケールローリー増設→基幹クーラー設置→関東市乳圏への大巾送乳→飲用化促進(目標85%)→「宮城のフレッシュ牛乳」→酪農家所得の増大に重点指向。

- (1) 生乳流通改善対策(スケールローリー2台、ベビローリー17台、生乳輸送リース協会出資) 8,431千円(6,850千円、県生乳販連)
- (2) 集団飲用促進(電気自動車3台) 1,690千円(0千円)
- (3) 加工原料乳補給金、つなぎ資金 20,000千円(0千円)、県生乳販連

生乳販連が酪農家へ乳代と共に毎月支払う補給金(事業団体から後払)の県貸付け。

- (4) 酪農経営安定のための自給飼料基盤の拡大
 - (イ) 団体営草地 172 haの他農協等を中心とする自給飼料生産調整手段(サイレージ、乾草)の整備事業(飼料作物生産合理化及び粗飼料流通モデル事業) 21,603千円(104,333千円)

- (ロ) 農業公社牧場=建売牧場の建設(本吉、岩出山、大衡)

農地管理公社、畜産開発公社がそれぞれの機能を分担して農家の意向を導引しながら適正規模の牧場を建設して自立畜産経営を指標する経営者に譲渡又は貸付けて地域畜産の振興をはかる。

- (ハ) 県営白石牧場の開設 15,076千円(25,828千円) 白石市深谷に44年度以来建設中の340 haの高原牧場が本年5月県営牧場として開設(乳牛500頭収容可能、酪農研修施設整備)、特に仙南地域の酪農振興の基幹牧場とする。

〔4〕畜産公害対策

水質汚濁防止法等によって畜産施設も規制を受けることとなり家畜ふん尿処理対策が益々緊要となるので「畜産経営環境保全対策要綱」に基づいて、ブロック毎に畜産振興協議会(環境保全部会)等で十分協議のうえ町村ぐるみの適切な対応策を講ずることが必要である。

- (1) 畜産団地造成事業 35,513千円(9,689千円) 市街地等の畜産農家を農振地域に集団移転させ規模拡

大による自立畜産農家の育成と畜産振興をはかる。

(酪農、仙台市→川崎町、養豚 仙台市→大衡村……継続分)。(養豚、中新田町→白石市、養豚 高清水町→町内……新規分)

- (2) 家畜ふん尿の農地還元のために必要な手段整備(堆肥舎、尿貯溜槽、バキュームカー、ダンプ等)
 - (イ) 広域きゆう肥利用促進事業 12,031千円(4,630千円) 中新田町農協、高清水町農協
 - (ロ) 家畜汚水処理施設整備実験事業 13,758千円(0千円) 白石、角田各市農協、桃生町
 - (ハ) 畜産経営環境保全総合対策指導事業 1,800千円(0千円)

6 地域畜産振興協議会の運営促進

〔5〕その他

- (1) 米生産調整対策 26,733千円(67,375千円)
- (2) 地域畜産振興事業(地方競馬全国協会補助事業関連) 9,401千円(9,897千円)
- (3) 畜産経営技術改善促進事業 5,299千円(8,410千円) (酪農10ヶ所、養豚3ヶ所、肉用牛1ヶ所) (宮城県農政部畜産課長)

近代化されつつある

集乳機構

宮城県生乳販連

集乳の合理化は乳質改善、飲用化促進とともに進められているが未だ目標の域に達していない。

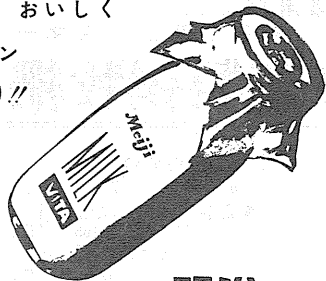
本県の集乳路線は、ご多聞にもれず複雑多岐を極め、大方の地域で入り乱れており、集乳車が1日に走行する距離はなんと9,000キロメートルにもおよんでいるといわれている。これは青森と下関間を二往復半の走行に相当する距離である。

私共は集乳の近代化と併わせ合理化することによって、この集乳距離を2分の1程度に短縮出来ると確信してい

こくて おいしく

ビタミン

たっぷり!!



明治ビタ牛乳

飼い上手 育て上手は……

みのたに……で



動物薬品・獣医器具総代理店

K.K美濃谷



- 本店 山形市蔵王成沢 TEL 山形 (0236) (88) 3121
- 仙台営業所 仙台市山田字羽黒堂 5-216 TEL 仙台 (0222) (45) 4306
- 鶴岡店 鶴岡市本町一丁目 8-3 TEL 鶴岡 (0235) (22) 1428

る。酪農家にとってもこれは大きなメリットにつながる
ことである。

本県は、乳業工場も多く又、CSも全国的にみて多い
という特質をもっている。本県酪農がいかに破乱に満ち
た歴史をたどって来たかを物語る証拠でもある。

本会はあくまでも不足払い法の趣旨により、この集乳
の合理化を図ることが一大課題である。時あたかも生乳
集出荷近代化緊急対策事業として国において予算化され
るようになって以来、これを契機として基本事業3ヶ年
計画を樹立し、集乳の合理化に取り組むことにしたもので
今年度ですでに2年目に当り、その主役をなすミルク
スチールローリー(表紙写真)、或いは可搬式ミルクタン
クローリー(ベビーローリー)も合わせてすでに導入台
数は30台にもなろうとしている。

しかし、これも1つは乳質改善を目論むものでもあり、
その効果を最大に発揮するために、末端酪農家に冷却施設
(ユニットクーラー)を備えなければならないことである
が、これは酪農家の負担となることでスムーズな進行
を妨げているきらいがある。

よって地域酪農振興のため、共同利用施設として設置
することを提唱し県、市町村の補助を出来るだけ期待し、
プラス、制度融資を活用することの指導をしているもの
である。

これで畜舎の中で衛生的な搾乳が行なわれ、ユニット
クーラーで直ちに冷却され、それがミルクスケールロー
リー-或いは可搬式ミルクタンクローリー-により集乳され
乳業工場へ生乳は冷却(約摂氏5度から10度以内)にさ
れた状態で搬入され、乳質(細菌の増殖は抑えられて)
は完全に保たれるわけである。

この集乳方式によって「宮城のフレッシュ牛乳」とし
て、厳重な細菌数の規制がなされている首都圏への送乳
も可能になるわけである。

そしてこの県外移出増加による飲用化の促進は何より
も酪農家へのメリット(乳価水準アップ)として還元
になるといえるものである。

現在ユニットクーラーの導入台数は約3,000台で、そ
の利用農家は70%におよんでいる。更に昨年度、今年度
あわせてミルクスケールローリーは11台、可搬式ミルク
タンクローリーは20台が導入されることになる。この事

業は48年度中で大方を終了したい考えである。

真実の集乳合理化の端緒となるこの事業推進に対して
会員生産者団体並びに酪農家1人1人の深いご理解とご
協力がなければなりません。

以下ユニットクーラー、ミルクスケールローリー、可
搬式ミルクタンクローリーによる集乳システムの効果を
概念的に注釈して稿を終りたい(T)

1. 乳質が著しく改善される。
(2等乳絶無、有利販売となる。)
2. 集乳時間が制約されず終日集乳が可能となる。
(ミルクタンクローリーの稼働効率の向上)
3. 集乳密度の低い地域(酪農家)では隔日集乳も可能
である。
4. 合理化によって集乳経費が安くなる。
5. 搾乳時間と自己の労働配分で出来る。
(早朝搾乳をしなくてもよい。)
6. 合理化
 - 乳缶を輸送する不合理性の解消
 - CSにおける従業員の減員その他で運営経費が節
減出来る。
 - 集乳車台数を大巾に減らすことが出来る。

農業公社牧場

設置事業とは

県畜産課草地飼料係

この事業は、昭和47年度から新しく実施される事業で、
あらゆる機会を利用して内容を説明して周知を図ってき
ましたが、まだ十分に内容が熟知されていない面も考え
られますので、この事業のあらましを申し上げます。

1 事業主体

県の区域を業務の範囲とする農業公社とする要綱に規
定されており、本県では市町村(受益農業者)からの要
請により「県農地管理公社」が全て事業主体となります。

こくておいしい大型びん…

森永 ハイグレード牛乳

宮酪乳業株式会社

仙台市一番町4番31号 TEL(代) 23-9101

牧場用柵には
強くて美しくスマートな

東芝製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL07053

販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市大町三丁目165 TEL014581

代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL046221

2 実施計画の要件

- (1) 対象面積……草地造成面積が1地区おおむね10ヘクタール、数団地に分かれる場合は1団地おおむね1ヘクタール以上であること。(ただし、小規模特定地については、1地区5ヘクタール以上で、1団地0.5ヘクタール以上。)
- (2) 事業の受益農業者が5人以上の個人、または1つ以上の事業生産法人であること。(ただし、事業当初3人以上の受益農業者となる地域も含む)
- (3) その他の要件については、団体営草地開発事業および草資源利用施設整備事業(同時に実施する場合のみとする。)の要件をみたとすこととする。

3 事業実施種目の種類および補助率

- (1) 基本施設整備事業
 - ア 草地造成改良 (補助率65%)
 - イ 牧道等整備 (" 65%)
 - ウ 雑用水施設整備 (" 65%)
- (2) 利用施設整備事業
 - ア 隔障物整備 (補助率60%)
 - イ 電気導入施設整備 (" 60%)
 - ウ 家畜保護施設整備 (" 60%)
 - エ 飼料貯蔵施設整備 (" 60%)
 - オ 飼料乾燥施設整備 (" 60%)
 - カ 草地管理利用機械施設整備(補助率2分の1)
 - キ 特設施設整備 (補助率60%)

4 実施の手順と実施主体

- (1) 事業候補地の選定……市町村(受益者)が予め選定し、家畜保健衛生所長を経由して県に連絡する。
- (2) 調査計画……経費の全額を国と県が負担して県が行なう。
- (3) 土地取得……市町村の協力を得ながら県農地管理公社が行なう。なお、個人所有地の事業委託もよろしいが詳しいことは相談して下さい。
- (4) 牧場設置事業……県農地管理公社が行なう。
- (5) 事業完了後の売渡し……農地管理公社が市町村の協力を得て受益者に売渡しを行なうが、1部貸付けを行なう場合もある。

5 この事業の有利性

- (1) 土地取得は公社が行なうので円滑に実施される。

- (2) 制度資金の活用が円滑に行なわれる。
- (3) 小さい面積でもセット化された牧場施設の供給が受けられる。
- (4) 自立畜産農家が育成され、定着化が促進される。
- (5) 事業実施当初に多額の投資を行わずに牧場施設が取得できる。
- (6) 自己保有資本を効率的に回転できる。
- (7) 土地の取得および譲渡について、税制上の減免の特典がある。

以上のように紙面の都合から農業公社牧場設置事業の概要を申し上げましたが、直言すれば「建売牧場」的性格の事業ですから、詳しくは最寄りの家畜保健衛生所に相談のうえ、大いに活用してください。

畜舎汚水の排水規制実施

＝10月1日、水質汚濁防止法

施行令の一部改正＝

宮城県畜産課

水質汚濁防止法の制定に伴う畜舎汚水の排水については、従来県公害防止条例の定めるところにより排水規制が行なわれてきましたが、このたび国の段階において、中央公害審議会水質部会の答申をうけ、水質汚濁防止法施行令の一部改正を行ない、工場排水の規制と同じように10月1日から畜舎汚水についても水質規制が実施されます。

規制の内容は、牛、馬、豚それぞれ一定面積以上の畜舎施設で、公共用水域に汚水を排出している場合は、特定施設としての届出の対象となり、届出義務が生ずる畜舎施設は、豚の場合50㎡以上(おおむね50頭相当)、牛は200㎡以上(おおむね20頭以上)、馬は500㎡以上(おおむね50頭以上)である。

水質規制については、1日平均排水量が50トン以上の施設にかぎって規制され、次のような排水濃度の一般基準が適用されることになりました。

B.O.D(生物化学的酸素要求量)最高160(1日平均

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事

ポンプ工事

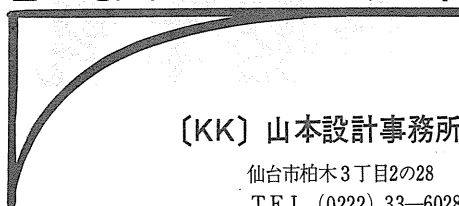
水処理工事

設計・施工

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)1420
(93)5651

畜産施設設計コンサルタント



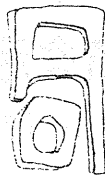
〔KK〕山本設計事務所

仙台市柏木3丁目2の28
TEL (0222) 33-6028

120 PPM以下, C.O.D (化学的酸素要求量) 最高 160 (日平均 120) ppm 以下, S.S (浮遊物質) 最高 200 (日平均 150) ppm 以下, この一般基準をこえた排水又は, 排水のおそれのあるときは, 罰則の適当, 施設の改善命令あるいは施設の一時使用停止等の措置がとられることになっております。

なお, 既設の施設については, 1年間の適用が猶予されることになっております。

詳細については, 最寄りの保健所又は家畜保健衛生所市町村等に照会してください。



47年度預託牛の肥育

共励会に寄せて

宮城県畜産農協連

昨今の極めて厳しい農業情勢は, 予測され又観測もされておりましたが, それに拍車をかけるように輸入牛の自由化, 円の再切り上げの問題等と牛生産関係者に対する不安の要因と合せて, 米作の生産調整と諸物価の高騰, 労働力の流出から老化化傾向と農業を取り巻く急激な変化が目下の状況であります。そのさ中において, 国民の食生活の向上により牛肉の需要が激増しており, 世界的にも不足している現況に鑑み, 肥育事業は益々期待される成長作目と目されております。

本共励会は, 肥育事業を発展させ, 各参加組合間の肥育の成果を競うことに目的があり, 今回で開始以来13回

目を迎えて, 本県の肉牛肥育の基礎を造り今日の「仙台牛」としての銘柄を確立した事は関係各位のご努力とご協力の賜もので, 誠にご同慶にたえない次第であります。

本年度共励会の参加肥育組合数は54組合で, 昭和46年度中の預託頭数は若令牛 412頭, 壮令牛 467頭, 乳おす 233頭の計 1,112頭でした。

又販売した頭数は若令牛 394頭, 壮令牛 789頭, 乳おす 289頭の計 1,472頭で前年度と比較すると預託牛では 296頭の減, 販売では 251頭増の参加頭数でした。

前年度迄は増体成績等を基に行なって参りましたが, 今年より要綱を一部改正して多頭, 多額並びに最高価格, 無事故と個人, 団体とに分けて経営本位で行いました。

内容を見ると預託頭数では壮令, 若令, 乳おすの順となり販売でも同じ順位となっております。

近年肥育事業が全国的に普及し反面, 肉用子牛の生産が減退し乳用牛の利用増大等素牛の不足が生じて参り, 今後に於いて資源の関係上, 若令肥育の傾向が必然的に強くなると思われます。

次に素牛価格並びに販売価格に於いては, 若令牛では素牛平均価格 99,700円, 販売価格の13,500円その差は, 113,800円となり, 壮令牛では素牛平均価格112,400円, 販売価格 201,100円でその差は88,700円, 乳おすでは素牛価格60,300円, 販売価格 170,600円でその差は110,300円でした。これを昨年と比較すると素牛価格並びに販売価格は10~15%上廻っておりますが, 年間を通じて, 子牛の相場は上昇したが, 成畜の相場は余り変化が見られなかった。又種別毎の肥育日数では, 若令 295日, 壮令 229日, 乳おす 337日と前年と比較すると若令では短縮され, 壮令と乳おすではやや延長されており, 素牛の体重, 資質等が影響しているものと思われます。

事故の発生状況では若令牛 9頭, 壮令牛 4頭, 乳おす 6頭計19頭であり事故発生率は預託頭数の 1.7%で, 原因では急性鼓張症が大半を示め, 尿道結石症その他の順となっておりますが, 相互の経済的損失となりますので飼養管理に充分注意されるようお願い致します。

次に仕上げ体重であります。肉牛の肥育状態よりことなりますが肉牛審査標準で示す大きさと月令の目標を申し上げますと和牛の去勢牛で生後23~24ヶ月令で体重 670 kg, 壮牛で生後30~34ヶ月で 650 kg, 乳おすで17

今日の活力! 明日の健康!

全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

パスター・ポストD型

脱柵の心配のない隔障物

北原電牧(株)代理店

仙台市卸町三丁目1番地21号

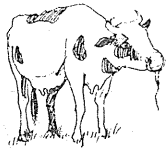


吉田産業仙台支店

TEL (0222) 02 4131

～18ヶ月で 650 kgが目標であります。最近肥育に用いられる素牛の月令や体重、肥育方法が変化して来ている事もあります。全般に仕上げ体重は大きいものが狙われるようになって来ており、理想肥育では 600 kg以上、その他の肥育型態でもだいたい 500～550 kgといった出荷体重となっております。

以上で共励会の概評を述べましたが、現今の畜産の実情は牛肉が世界的に不足し増加しつつある需要を満すことが出来ない実情にあります。従って国、県あげて肉用牛振興対策に大いに力を注いでおりますが、この際肉用牛素牛の増産も勿論必要ですが、効率の高い肥育を行なうべく少ない飼料でなるべく多くの牛肉をつくるよう努めることが大切と思われまます。この点で本共励会の使命は重要であり又斯業が益々発展することを望みます。



在スイス365日の 農民と農業 (その8)

大沢尚文

当場の自慢はヨーロッパの温室のモデルで、すべての栽培管理はオートマチックである。例えば温室の温度管理はフレームごとにサーモスタットが付いていて、側窓

天窓の開閉が自動的で一定の温度を保つことが出来る。

勿論ボイラーの電動機とも直結されているので温度が適温を越えれば熱源が切れるようになっている。又ボイラーが加温しなくとも適温以上に室温が上昇するときは煙霧をつくり室温が下がるような装置も完備されている。

菊などのような植物を春に開花(不時栽培)させる場合は長日、短日のコントロールを自動的に実施出来る装置があったり、施肥及びイリゲーション(灌水)もすべてボタンひとつでフレームごとに作業が出来るようになっている。このように花種及びフレームごとに適切な管理が容易に出来ることにより、品質の良い切花を省力的に栽培出来る点は興味あることである。

温室における収入を左右する条件として第1に考えられることは単位(㎡)当りの収入をいかに高めるかがポイントで、特に高級品の花を回転よく省力的に栽培出来るかにかかっている。

八 農民教育とマイスター制度

偉大な教育家ペスタロッチの生地スイスは教育に熱心なことは言うまでもないが、スイスの義務教育年数は州によりまちまちである。

ほとんどは日本と同様9年であるが州により7年のところもある。義務教育費はすべて州政府で負担し完全給食である。

義務教育が終了すると専門学校、大学と進むがスイスは特に専門学校が多く農学校、果樹学校、ブドウ酒醸造、酪農、織物、家政、養鶏、木工、山岳農学校等の農業関連学校が数多くある。

農家の子弟は自分の経営に適した専門学校を選び教養と技術を身に付ける。家庭の事情で専門学校に行けない場合は農閑期に(冬期学校11月～3月まで就学)週2～3日行き数学、一般社会学、歴史、化学、農林土壌学、栽培技術、農業機械、病害虫等の科目を2～3ケ年に亘り学ぶ。丁度小生が行ったベルン州のムルツェルンでの(1969年)科目は数学と一般社会、農林土壌、農業機械等を勉強していたが、来年(1970年)は家畜飼養、衛生病害虫……等の科目を勉強することになると言っていた。

教育程度は日本の農学校の1～2年程度であろう。教育の方法は日本とちがう点は州立の農学校及び普通高校の先生が村の小中学校の校舎を借りて(冬期間のみ)講

畜産の薬品・器機

何でも揃ふ専門店

仙台市上杉三丁目3-8
東北獣医薬品株式会社
TEL (25) 7338

支店 登米郡迫町佐沼下田中
TEL 迫(2)2278

支店 山形市小白川町4丁目
TEL山形(3)9909

宮城日野自動車株式会社

本社 仙台市田子字沼前八番地
TEL(大代表)～672171
営業所 柴田郡大河原町大谷字町向137
TEL(2)3450～1
営業所 古川市稲葉字五味屋敷103
TEL(2)4818～9
営業所 石巻市門脇字東上野42-3
TEL(2)6135～7
出張所 気仙沼市吉町一丁目2の15
TEL(2)8629



中型トラック
日野レンジャー
4,5ト、KL/4,0ト、KQ/3,5ト、KM

義をする。

ヨーロッパには中世時代におきたギルド制(徒弟制度)の風習が現代的な形で残っているマイスター制度というのがある。マイスターとは親方的意味をもちマイスターになるには資格を必要とし、この資格は相当の教養と技術を身につけ経験も必要で国がこの資格を与えている。有資格者は自分の家で農家の徒弟(実習生)をおき働きながら農業の知識を伝授する。たいいていの農業後継者はマイスターについて実践の農業技術を身につけてから自営する。

女子についても同様家政、食生活、育児等の主婦業を身に付ける。要するに農家の嫁ぐための花嫁修業である。最後にスイス国民だけでなく世界各国からの見習学生が多数勉強に来ていることを付け加えておこう。

九 社会資本の充実した国

1667年に議会で中立宣言をして以来、いろいろの曲折を経過をたどりながらも着々国土建設に力を注いできた現在病院、学校、教会等の施設は標高1,500~2,000 m級の農山村までも都市と変わらず充実している。又鉄道はアルプスの山々をめぐるかの有名なシンプトントネルは19.8kmにも及び、最も高いユングフラウヨッホ駅は標高3,450 mの地点にある。そして道路という道路はほとんど舗装され標高2,460 mの峠おも、つっぱしているなど数限りない。

十 スイスの農業政策

基本方針として次の3つあげられている。(1)生産基盤の向上、(2)農作物価と収入の保障、(3)災害及び損害の保障等があげられる。これらの目的を達成するためにスイス連邦政府では各種助成対策を講じている。まず第1にスイスは現在食糧の自給率は60%程度とみられ、食用小麦、馬鈴薯、牛肉、牛乳乳製品はほとんど自給出来るが、濃厚飼料はほとんど輸入にたよっているので飼料用穀物の栽培に力を注いでいる。穀物(飼料用)栽培農家には5,000円/10aの助成している。第2に傾斜農業に対する助成で傾斜角度20%以上の耕地で馬鈴薯(1,660円/10a)小麦(880円/10a)を栽培したものに与えられる。第3に畜舎及び農機具、住宅に対しても10~15%の助成がある第4に農用燃料に対する免税や家族補助(子供1人当たり2,000円~3,000円を養育費として供与される。)第5に

乳製品(バター・チーズ)の過剰生産を抑制するため、牛のと殺奨励金(30千円~50千円)が出されている。又一方では乳価を適正な価格に安定させるため毎年連邦政府の大臣(大統領も含む各大臣)7人で検討し決り一部助成(牛乳1kg当り約3円20銭)も出している。

これらの助成はすべて連邦政府と州政府が折半し助成している。連邦政府の農業関係の所管は経済省農務局で農務局は局長以下8名のスタッフと3~4名のスタッフ補助員(女子)で仕事が進められ、日本の農林省のように何千人というスタッフはいない。

スイス農務局の仕事は大別すると、①外国の農業情勢の分析、②農産物の輸出入のコントロール、③州政府へ助成割当て、④農林外交等位なものである。その他各種事業普及指導関係等はすべて州政府に委ねられている。スイスは特に世界で最も地方自治の発達した国であるので各州により農政はもとより風習など地方色豊かな国である。

十一 おわりに

見たまま聴いたまま、そして本で読んだままのスイスの農業を紹介しましたが、これはスイスのある一部の風習なり農業概要に過ぎず、これがスイス農業のすべてであるとは小生自身微塵も思っていない。

ただスイスで酪農が農家を安住させる生活の糧となっていることを確めるだけでも小生にとっては大きな収穫であり、頭初の目的を満足させるものであった。

最近の農業情勢は我国ばかりでなく欧米先進諸国にも共通していて、国家経済の変革とともに大きく変動していることは事実として受けとらざるを得ない情勢にある。これらの対策としてEECのマンズホルトプラン、カナダの過剰小麦に係る9割休耕などは良い例であろう。

今後は農業という性格の産業を鉱工業の発達、進歩にいかにかに調和させるかが大きな問題点と思料される。

完

酪農経営に画期的な新鋭機登場



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

